

2026(令和8)年度 特別展

立山から南極へ

～南極観測70年の始まりと今～

「地球の覗き窓」を開いた立山ガイドの挑戦と、受け継がれる未来への観測

【始まり】 第1次南極地域観測隊 (1956)



東オングル島に集った5人の立山ガイドたち

今から70年前、未知なる極限の地へと挑んだ第1次南極地域観測隊。昭和基地建設を担った隊員53名の中に5人の「立山ガイド」がいたことをご存知ですか。

【今】 第65次南極地域観測隊 (2024)



第65次南極地域観測隊 (画像提供: 国立極地研究所)

70年を経て受け継がれる南極観測のバトン。当館学芸員が広報隊員として現地で捉えた映像や写真などを通して、日本が挑む極地研究の最前線を紹介します。

【旨趣・概要】

地球環境の過去・現在・未来を映し出す貴重な「覗き窓」——南極。70年前、1万4千km離れた極限の地に挑んだ第1次隊と、それを支えた立山ガイドの活躍。そして今なお閉じられることなく地球の変容を見つめ続ける最新観測まで、立山と南極を繋ぐ壮大な挑戦の物語を辿ります。

開催概要

- 会期: 2026年10月10日(土)～12月13日(日)
- 会場: 立山カルデラ砂防博物館1階ホール・企画展示室
- 観覧料: 無料 (常設展・大型映像を除く)
- 主催: (公財)立山カルデラ砂防博物館
- 後援: 立山エベレスト友好協会・立山黒部ジオパーク協会
協力: 国立極地研究所、東京海洋大学、兵庫県立大学、
(公財)名古屋みなと振興財団 名古屋港水族館

※ 注目の体験・体感展示

- 3面 VRシアター: 南極の世界をパノラマ映像で体験！
- 3DCG標本: 立体標本をタッチパネルで観察しよう
- 特別上映: 「白い大陸へ 第一次隊の記録」ほか
- 超高温変成作用を経験した地球最古級の岩石標本
- 南極で使った芦嶺かんじきが70年ぶりに里帰り！

特別講演会「観測隊のおしごと」(立山黒部ジオパーク協会 大地を探索リレー講演会)

日時: 11月7日(土) 13:10～16:20 (12:50開場)

講師: 第65次南極地域観測隊員

森 祐紀氏 / 松田 乾氏 / 山岡 麻奈美氏

参加費: 無料・予約不要 (先着順) *定員100席

※トークセッションで「南極の生活・食事・娯楽」も開催！



開館カレンダー
休館日・開館時間にご注意ください



アクセスマップ

【特別展会期】 2026年

10.10 [土] → 12.13 [日]

富山県立山カルデラ砂防博物館

〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦嶺寺ブナ坂68 / TEL: 076-481-1160